

## ガバナー月信

Governor's Monthly Letter

地区年度テーマ

『よりそう奉仕・ロータリー』

今月は『青少年奉仕月間』

5 | Vo.11  
2025国際ロータリー第 2620 地区  
2024-25 年度 ガバナー

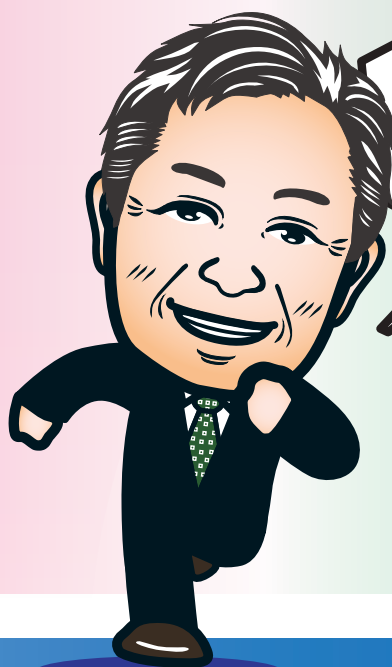
小泉 久司 (甲府西 RC)

薫風さわやかな季節を迎え、皆さまにおかれましては、ますますご清栄のことと存じます。

さて、今年度も残すところあと 2 カ月となりました。クラブ会長・幹事の皆さま、今年度の地区目標、クラブの目標を再確認してください。そして、国際ロータリーの「クラブ優秀賞」を多くのが達成できますよう、期待いたしております。クラブ優秀賞を達成するには、すべての目標を確認してその中から少なくとも半分を選択し、それらを達成した上で、ロータリークラブ・セントラルからその達成を 6 月 30 日までに報告する必要があります。

ローターアクトクラブ、インターアクトクラブの「クラブ優秀賞」もごございますので、ぜひ下記の QR コードからアクセスして確認してください。インターアクトクラブの提唱クラブの皆さま、ぜひスポンサーを務めているインターアクトクラブを推薦してください。

クラブ優秀賞について詳しくはこちら！



今期も残りわずか！

よりそった奉仕と親睦を  
最大限楽しみましょう！

## RI 規定審議会 2025

RI 規定審議会 2025 は 4 月 13 ～ 17 日までアメリカ・シカゴ市内で開かれ、当地区からは代表議員の野口英一パストガバナーが出席されました。5 月 18 日（土）に Zoom で開催させていただく「地区奉仕活動セミナー」において講話をいただく予定です。

主な承認事項は下記の通りです。

### 人頭分担金

1 年目に 3 米ドル 50 セント増額することを承認。これにより、会費は 2025-26 年度の 82 ドルから、2026-27 年度の 85 ドル 50 セントへと増額されます。その後、2 年目と 3 年目に 3 米ドル 75 セント増額されます。

### 地区大会の開催

年次地区大会の開催を任意とする。

### 新クラブの加盟に必要な会員数

20 人から 15 人に引き下げ。

### 研修セミナー等の改称

会長エレクトの研修セミナーを「会長エレクト・ラーニングセミナー」に、地区研修・協議会を「地区クラブ・リーダーシップ・ラーニング・セミナー」に改称することを承認。この措置は、積極的参加と能力を引き出すための「研修からラーニングへの文化的転換」の一環です。関連する名称も順次更新されます。

2025 年  
規定審議会  
各日のまとめ



## 5 月は青少年奉仕月間

5 月は青少年奉仕月間です。

当地区におきましても、インターアクトクラブ、ロータリー青少年交換の学生の皆さんが活躍されております。スポンサークラブの皆さん、そしてロータリープログラム委員会の皆さんのご尽力のもと、スムーズに活動を展開されております。コロナ禍においては思うような活動ができませんでした。青少年の皆さまが元気に活動し、成長する姿を拝見する度に、ロータリー活動の奥深さを実感いたします。ロータリーのロゴを見かけると、親近感を持っていただける青少年の皆さんが多くいらっしゃると思います。公共イメージの向上にもつながり、貢献いただいていることと存じます。

青少年交換の受入学生は、お会いする度に日本語のスキルが上達されています。派遣学生の帰国報告も楽しみにしています。語学を学びながら異文化を体験し、視野を広げて成長されている皆さんを誇らしく思います。

## 浜名湖ロータリークラブ創立 40 周年記念式典

2025 年 3 月 30 日（日）、国際ロータリー第 2620 地区 静岡第 5 グループ「浜名湖ロータリークラブ 創立 40 周年記念式典」が、浜松市のグランドホテル浜松にて開催されました。

浜名湖ロータリークラブは、1985 年 11 月 4 日に浜松西ロータリークラブをスポンサークラブとして創立されました。

式典は、創立 40 周年記念式典実行委員長・柴田浩様の開会のご挨拶から始まりました。クラブはこれまでの 40 年間、時代の流れや経済変動などの影響を受けながらも、クラブ会員やご家族の協力のもと、地道に活動を続けてまいりました。

第 40 期会長・杉山寿夫様からは、ご出席いただいた皆様への感謝の言葉とともに、今後も引き続き奉仕活動・地域貢献活動を着実にいき、「身の丈に合った支援」を続けていく旨のご挨拶がありました。続いての来賓挨拶では、小泉久司ガバナー、湖西市長の田内博之様、そして友好クラブである台湾の羅東中ロータリークラブ会長の潘志賢様よりご祝辞と記念品の贈呈がありました。

記念事業としては、湖西少年少女発明クラブへの寄付金の贈呈や、中村会長による事業報告が行われました。また、子ども食堂「いちかわさんち」への寄付金贈呈に加え、小泉久司ガバナーには、ロータリー財団・米山記念奨学会・ポリオプラスへの寄付金が贈呈されました。

式典の最後には参加者全員で記念撮影を行い、盛会のうちに 40 周年記念式典は閉会いたしました。



寄付金贈呈



寄付金贈呈



子ども食堂『いちかわさんち』寄付金贈呈

## 国際ロータリー第2620地区

### 静岡第5グループインターシティミーティング

2025年3月30日（日）、浜松市のグランドホテル浜松にて、静岡第5グループ主催のインターシティミーティング（IM）が開催されました。ホストは浜名湖ロータリークラブ、グループ内12クラブから多くのロータリアンが集い、盛大な交流の場となりました。

来賓として浜松市長の中野祐介様、愛知・RID2760地区の吉川公章ガバナーと安田幸雄ガバナー補佐もご臨席されました。

内山ガバナー補佐より、IMのテーマ「ロータリーのボーダーレス化への挑戦」について説明がありました。これは、静岡第5グループが隣接するRID2760地区東三河分区との交流を通じて、地区の垣根を越えた協力関係を築き、異なる文化や視点を尊重し合う中で新たな発見や成果を得ていくことを目指した取り組みです。この思いを胸に、1年間の活動が行われてきました。

続いて、次年度ガバナー補佐・川井啓介様（浜松中 RC）の紹介とご挨拶がありました。

第2部では、オープニングムービー上映後、両地区計24クラブによる交流例会の成果発表が行われ、地区や県境を越えた連携の可能性を感じる機会となりました。

第3部の懇親会では、内山ガバナー補佐がジャック・スパロウに扮して登場し会場を盛り上げ、浜名湖 RC と地元吹奏楽団による合同演奏も感動を呼びました。最後は「また逢う日まで」の合唱で締めくくられ、心温まる IM となりました。



静岡第5グループより寄付金贈呈



RID2760 地区吉川公章ガバナーと



浜名湖ロータリークラブ吹奏楽団

## 新米山奨学生・世話クラブカウンセラー研修会

2025 学年度新米山記念奨学生・世話クラブカウンセラー研修会を4月5日、静岡市の中島屋グランドホテルで開催いたしました。新奨学生22名のほか、継続奨学生、指導教員、クラブ会長、カウンセラー、世話クラブの皆さんを含め約100名が参加し、盛大なオリエンテーションとなりました。

奨学生は、米山記念奨学生としての心構えや、世話クラブや他の奨学生との関わり方、例会出席などの責務についてなどが伝えられました。カウンセラーやクラブの皆様には、米山記念奨学制度や奨学生との期間中交流、留意事項の具体例などを示した講義が行われました。その後、対面式が開かれました。

また、米山学友会はミャンマー大地震救援金を募るとともに、ミャンマーからの継続奨学生ミヤ・パール・ソーさん（SP：清水中央 RC）からミャンマーのご家族や友人などの状況を含めたスピーチをいただきました。現地の様子を直に共有していただきました。当地区におきましては、各クラブへご案内の通り、5月16日（金）までミャンマー大地震支援金の受け付けをしています。



## 浜松南ロータリークラブ 創立 60 周年記念式典

2025 年 4 月 6 日（日）、国際ロータリー第 2620 地区 静岡第 5 グループ「浜松南ロータリークラブ創立 60 周年記念式典」が、浜松市のグランドホテル浜松にて開催されました。

浜松南ロータリークラブは、1965 年 4 月 8 日に創立総会を開催し、同年 6 月 24 日に国際ロータリーより加盟認証を受け、静岡県で 18 番目のロータリークラブとして誕生しました。初代会長・藤森陽吉様を中心としたチャーターメンバー 32 名により活動がスタートし、会員相互の親睦を深めながら、各種奉仕活動を全員で分担する体制の構築に注力されました。

式典は、高柳裕久会長のご挨拶により開会しました。会長は、「創立以来、親睦と奉仕の精神に基づき地域社会に貢献してきた。60 年にわたる歩みは、地域の皆様の支えはもとより、先輩諸氏と会員一人ひとりの熱意と奉仕の心によって築かれてきたものである。今後も 60 年間で培ってきた“紡ぐ力”で、人と時代をつなぎ、地域の発展と未来のために尽力していきたい」と語られました。

続いて、小泉久司ガバナー、静岡県知事・鈴木康友様、浜松市長・中野祐介様、浜松商工会議所の斉藤薫様より、ご祝辞を頂戴しました。

60 周年の記念事業としては、以下の 2 つの活動が行われました。

- グローバル補助金を活用したスリランカ国立病院への医療器材の贈呈
- 浜松市ギャラリーモール「ソラモ」にて「はままつレスキューフェス」の開催

その後、式典では功労者への表彰および寄付金の贈呈などが行われ、盛大に 60 周年記念式典は閉会となりました。

高柳裕久会長をはじめ、ご尽力されたすべての皆様に心より敬意を表します。



高柳裕久会長挨拶



米山記念奨学基金への寄付金贈呈



功労者表彰



60周年式典会場

## 峡南ロータリークラブ 創立60周年記念式典

2025年4月12日（日）、国際ロータリー第2620地区 山梨第3グループ「峡南ロータリークラブ 創立60周年記念式典」が、富士川町のいち柳ホテルにて開催されました。

峡南ロータリークラブは、1964年8月28日に甲府南ロータリークラブをスポンサークラブとして、山梨県内で6番目のクラブとして創立されました。当初は「市川大門ロータリークラブ」として、29名のメンバーにより発足しました。その後、峡南地域に存在していた3つのクラブのうち2クラブが解散し、現在では唯一のクラブとなっています。昨年8月には、地域の拡大と会員増強を目的にクラブ名称を「峡南ロータリークラブ」へ改称されました。

記念式典当日は、市川三郷町長・遠藤浩様、山梨県議会議員・長澤健様、井上雅雄パストガバナー、山梨第3グループ・角田貞三ガバナー補佐をはじめ、山梨第3グループ各クラブの会長・幹事の皆様のご臨席されました。

式典では、峡南ロータリークラブ会長・長田稔様および実行委員長・内田利明様のご挨拶に続き、小泉久司ガバナー、市川三郷町長の遠藤浩様、県議会議員の長澤健様よりご祝辞を賜りました。なお、遠藤町長と長澤県議は、峡南ロータリークラブの会員でもあり、今後の奉仕活動および会員増強においてもご活躍が期待されます。

記念講演では、一般社団法人 山梨県消費者市民社会推進協議会（ASCON）特任講師・本田万壽男氏を講師に迎え、「SDGsの必要性とその対策」と題して、現代社会における課題と対策について貴重なお話を聞く機会でした。

式典終了後には祝賀懇親会が開催され、井上雅雄パストガバナーのご祝辞を皮切りに、会場は祝福と歓談に包まれ、盛会のうちに閉会となりました。

峡南ロータリークラブの皆様、創立60周年、誠におめでとうございます。



長田稔 会長ご挨拶



寄付金寄贈



ご祝辞



本田万壽男氏による「SDGsの必要性とその対策」

## 山梨ロータリークラブ 創立 55 周年記念式典

2025 年 4 月 13 日（日）、国際ロータリー第 2620 地区 山梨第 2 グループ「山梨ロータリークラブ 創立 55 周年記念式典」が、山梨市のフルーツパーク富士屋ホテルにて開催されました。

同クラブは 1970 年 2 月 19 日、現・笛吹ロータリークラブをスポンサークラブとして、35 名のチャーターメンバーにより創立されました。

式典は、三枝照二実行委員長の開会の挨拶に始まり、55 年間の歩みと記念事業が紹介されました。続いて、小泉久司ガバナー、山梨市長・高木晴雄様より祝辞が述べられました。

記念事業は 3 つの展開がなされ、第一の事業は、「ロータリー文庫感想文コンクール」。山梨市内の小・中学生を対象に開催され、子どもたちの豊かな感性が光る作品が多数寄せられました。

最優秀賞：丸山雄一郎さん（八幡小 4 年）

山梨市長賞：丸山菜乃花さん（八幡小 1 年）

教育長賞：市川晴菜さん（日下部小 6 年）

第二の事業は、「山梨市まちづくりの会 RCC 事業」への支援です。地元有志による「かわまちづくり」活動に対し、クラブが協力し地域活性を後押ししています。

第三の事業は、山梨市役所旧跡地への「ポール取付型大型時計」の設置。市民の憩いの場づくりが進められています。

その後の記念講演では、山梨英和大学理事の星野真理様が「経験は学びの宝庫」と題し、交換留学体験をもとに語られました。

祝賀会では、来賓や第 2 グループのロータリアンと共に盛大に 55 周年を祝福。プロマジシャン水野翔様によるマジックショーもあり、会場は大いに盛り上がりました。山梨ロータリークラブの皆様、創立 55 周年、誠におめでとうございます。



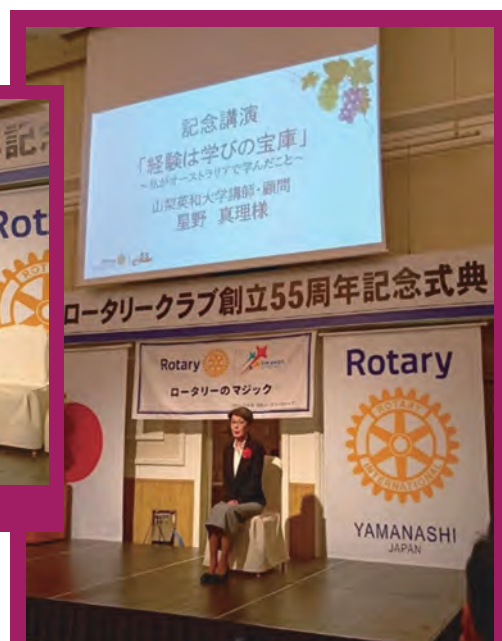
三枝照二 実行委員長ご挨拶



高木市長、柳場会長 受賞者と記念撮影



山梨市ロータリー地域社会共同体 (RCC) の報告



山梨英和大学理事 星野真理様  
記念講演「経験は学びの宝庫」

## 甲府ロータリークラブ 創立 75 周年記念式典

2025 年 4 月 19 日（土）、国際ロータリー第 2620 地区 山梨第 1 グループ「甲府ロータリークラブ 創立 75 周年記念式典」が、甲府市の甲府記念日ホテルで盛大に開催されました。

甲府ロータリークラブは 1950 年 4 月 20 日、東京ロータリークラブをスポンサークラブとして 26 名で創立。以来 75 年にわたり、地域に根ざした奉仕活動を継続しています。

式典では、実行委員長・篠原義明様による開会挨拶の後、これまでの歩みや過去 5 年間の奉仕事業が紹介され、山口高明会長はクラブテーマ「絆」に触れ、地域とのつながりをさらに深めたいと述べました。

記念事業としては、山梨ライトハウスへの点字プリンター・点字ディスプレイの寄贈や、1 名 3 団体への基金表彰が行われました。受賞者は、平野真理子様（平野卓球センター）、山梨青い鳥奉仕団、暮らしの保健室晴ればれ、こどもサポート山梨の各団体です。

また、甲府市長・樋口雄一様、甲府商工会議所・進藤中様、小泉久司ガバナーより祝辞があり、山梨県知事・長崎幸太郎様による記念講演では「県民生活強靱化 2.0」や「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」づくりなど地域の未来について語られました。

式典後の懇親会では、参加者が 75 周年を祝いながら交流を深め、盛況のうちに幕を閉じました。

甲府ロータリークラブの皆様、創立 75 周年、誠におめでとうございます。



篠原義明実行委員長のご挨拶



山口高明 会長のご挨拶



甲府市長 樋口雄一様によるご挨拶

## 地区研修・協議会を Zoom で開催

地区研修・協議会は4月20日(日)、伊東西RCをホストクラブとして、Zoomで開かれました。小泉久司ガバナーをはじめ、次期地区ラーニング委員会のパストガバナーの皆様、稲葉雅之ガバナーエレクト、若林秀典ガバナーノミニー、次期ガバナー補佐の皆様、次期クラブの会長・幹事をはじめクラブの各委員会のご担当者、クラブ事務局、総勢約880名の登録がございました。

午後12時半に本会議がスタートし、ガバナーエレクトの挨拶、出席者紹介、小泉ガバナーの挨拶に続き、浅原次期地区ラーニング委員長が「地区研修・協議会の意義」について話されました。その後は、稲葉ガバナーエレクトが次期RI会長メッセージ、年次目標および地区の次年度の計画について詳細にわたり解説。その後はシカゴでのRI規定審議会から帰国直後の野口英一ロータリーコーディネーターによる基調講話「次期RI会長メッセージと主要事項に見る新しい方向性」を聞きました。

午後2時20分からは分科会に移り、各部会で次期委員長を中心に各クラブのご担当者へ次年度の計画などをお伝えしました。午後3時15分からは再び本会議となり、分科会リーダー・サブリーダーが各部会の内容を要約して出席者全体へ伝えました。その後は稲葉ガバナーエレクトが次年度事業計画と予算の承認報告を行い、小泉ガバナーが次年度ホストクラブを紹介し、次年度ホストを務める藤枝南RCの鈴木寿幸会長エレクトが挨拶をしました。

最後に小泉ガバナーの総評、稲葉エレクトの謝辞をもって閉会となりました。



## 都留ロータリークラブ 創立 60 周年記念式典

2025 年 4 月 26 日（土）、国際ロータリー第 2620 地区 山梨第 1 グループ「都留ロータリークラブ 創立 60 周年記念式典」が、富士吉田市のハイランドリゾートホテル&スパにて盛大に開催されました。

都留ロータリークラブは、1965 年 4 月 29 日に富士吉田ロータリークラブをスポンサークラブとして創立され、以来 60 年間、多くの先輩方に支えられながら地域社会に根ざした奉仕活動を展開してまいりました。

式典は、創立 60 周年記念式典実行委員長・小林禎治様の開会のご挨拶から始まり、60 年間の歩みの紹介に続き、記念事業として以下の活動が報告されました。

- 「つるビーパーク・いこっと」開園に伴い、公園のシンボルとなる屋外時計塔を寄贈

- 地区補助金を活用した、フィリピン・セブ島サンミゲル小学校への教育支援事業

続いて、小林正道会長より感謝状および表彰状の贈呈が行われました。

来賓祝辞では、国際ロータリー第 2580 地区パストガバナー・多田宏様、都留市長・堀内富久様、台北圓滿ロータリークラブ会長・Irene 様、小泉久司ガバナーより、それぞれご祝辞を頂戴しました。

式典後は祝宴へと移り、都留市出身の石井裕太様（テナーサクソ）と金沢法皇様（ピアノ）による Sax & Piano JAZZ 演奏が披露され、参加されたロータリアンの皆様也大いに盛り上がりました。

都留ロータリークラブの皆様、創立 60 周年、誠におめでとうございます。



祝辞



懇親会の様子

## ロータリー地域社会共同隊 (RCC) の発足について

山梨ロータリークラブが「ロータリー地域社会共同体 (RCC)」を発足しました。

RCC は、奉仕プロジェクトを通じて世界を変えたいというロータリーのコミットメントを分かちあうロータリアン以外の人たちから成るグループです。RCC メンバーは、地元のロータリークラブと協力して地域でのプロジェクトを計画・実施します。ロータリークラブがスポンサーとなって結成される RCC は、クラブとパートナーシップを組み、ロータリーのネットワーク、ブランド力、会員の専門知識などを生かして活動します。RCC は、持続可能なプロジェクトを通じてよりよい地域社会をつくることを目指し、地元の人たちの知識や能力を引き出すと同時に、ロータリーのインパクトと参加者基盤の拡大を促します。

現在、105 カ国、257 地区に 12,000 以上の RCC が存在し、都市部や遠隔地、途上国や発展途上国など、ロータリーが存在する場所で活発に活動しています。

山梨市まちづくりの会 RCC は、「地域を自分たちの手でより良くしたい」という市民有志によって結成されました。初年度の活動として、環境保全をテーマに「かわまちづくり」事業の一環で、笛吹川や万力公園周辺の美化・保護活動に取り組んでいます。

2025 年 3 月には、初の实地活動として総勢 126 名による外来植物「アレチウリ」の防除やゴミ拾いを実施し、河川敷が見違えるように美化されました。市民からの評価も高く、地域の環境意識向上に貢献しています。

今後は、5 月 10 日（土）に特定外来種「オオキンケイギク」の防除を計画しており、在来種保護と生態系維持のため、継続的に地域と連携しながら活動を進めていく方針です。



プロジェクト終了後 きれいになった河川敷



外来植物「アレチウリ」

## 令和 7 年大船渡大規模山林火災被害支援金ご協力の御礼

令和 7 年大船渡大規模山林火災被害支援金にご協力をいただき、誠にありがとうございました。地区内 66 R C から 249 万 3003 円の支援金をお預かりし、R I 第 2520 地区災害支援本部へ送金いたしました。R I 第 2520 地区から、皆様への御礼とともに被災地域の復旧活動および被災された方々の生活支援に有効に活用させていただく旨のご連絡がございました。